

みえ県議会だより

NO. 175

令和2年
(2020年)
4月1日



第2回「みえ現場de県議会」の様子(津市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <http://www.gijiroku.jp/mie/>(スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)



▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ

委員会の活動状況

※令和元年5月15日から令和2年2月29日までのものです。

総務地域連携 常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査しています。

委員会開催回数11回

審査・調査の概要

第三次三重県行財政改革取組の策定や三重とわか国体・三重とわか大会の開催準備、南部地域の活性化、移住の促進など、多くの課題について調査を行いました。

特に、公文書等管理条例については、公文書等の適正な管理、保存、利用等を図るため、これまで以上に部局間で十分に連携するとともに、新たな手続きに対応できる体制をもって、適切に運用するよう県当局に要望しました。

また、交通空白地でのライドシェア、スマート自治体に向けた取り組みのほか、国体開催に向けた競技力向上や県民の機運醸成等について、現地調査を行いました。

審査した請願

○新過疎対策法の制定を求めることについて



県営陸上競技場(9.98スタジアム)での調査(福井県)

戦略企画雇用経済 常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査しています。

委員会開催回数9回

審査・調査の概要

みえ県民力ビジョン・第三次行動計画の策定、産業振興、雇用対策や観光振興など、多くの課題について調査を行いました。

特に、三重の人づくりにおける教育の基本的な方針等を内容とする次期の三重県教育施策大綱(中間案)については、教育警察常任委員会との連合審査会を開催し、記述の見直し等を県当局に要望しました。

また、大規模な無人飛行機等の研究開発拠点である福島ロボットテストフィールドや中小企業の事業承継の取り組み等について、現地調査を行いました。

調査した計画

○三重県観光振興基本計画
ほか



福島ロボットテストフィールドでの調査(福島県)

環境生活農林水産 常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査しています。

委員会開催回数9回

審査・調査の概要

ダイバーシティ社会の推進、環境への負荷が少ない持続可能な社会づくり、水域環境の保全と水産業の振興やCSF(豚熱)対策など、多くの課題について審査・調査を行いました。

特に、CSFに係る対応については、関係者からの聴き取り調査を行い、養豚農家への経営支援や感染拡大防止に向けた野生いのししの捕獲対策強化について県当局へ要望しました。

また、水産庁が進める水産政策の改革や神奈川県が進めるSDGsの視点を踏まえた環境政策等について、現地調査を行いました。

審査した議案

○三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例案
ほか



水産庁での調査(東京都)

医療保健子ども福祉病院 常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査しています。

委員会開催回数12回

審査・調査の概要

児童虐待防止と社会的養育の推進、医療と介護の提 供体制、地域共生社会づくり、健康づくりの推進、ひきこもり支援など、多くの課題について調査しました。

特に、子どもを虐待から守る条例の改正については、虐待への対応強化が急務となる中、虐待を生み出さない、見逃さない、繰り返させないという視点も十分に盛り込んだ実効性を伴うものとなるよう県当局に要望しました。

また、災害医療の現状や地域共生社会の構築に向けた取り組み、ひきこもり支援の対応状況等について、現地調査を行いました。

審査した請願

○介護ロボット等導入支援を求めることについて
ほか



地域共生社会づくりに取り組む社会福祉法人での調査(千葉県)

防災県土整備企業 常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業(病院事業を除く)の運営などについて、審査・調査しています。

委員会開催回数8回

審査・調査の概要

9月上旬の県北部の記録的大雨への防災対応や、三重県防災対策推進条例の改正、次期三重県建設産業活性化プラン(仮称)中間案など、多くの課題について調査しました。

特に、RDF焼却・発電事業については、事業終了の際に事業全体の検証・総括を行うよう要望しました。また、平成27年9月の関東・東北豪雨において堤防が決壊し甚大な被害を受けた鬼怒川水害に関し、国、茨城県、常総市などが主体となり実施している「鬼怒川緊急対策プロジェクト」のほか、鬼怒川堤防決壊現場の復旧状況等について、現地調査を行いました。

審査した議案

○三重県流域下水道条例案
ほか



鬼怒川緊急対策プロジェクトの調査(茨城県)

教育警察 常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織運営などについて、審査・調査しています。

委員会開催回数9回

審査・調査の概要

三重県教育ビジョン及び各種計画の策定や、犯罪抑止・交通安全対策など、多くの課題について審査・調査を行いました。

特に、児童生徒のいじめ等の全国調査結果の分析をしっかりと行い、いじめの解消に向けた対策の強化に努めることや交通事故の抑止対策のため、緊急安全点検の実施結果を踏まえた、関係機関と連携した速やかな安全対策の実施について県当局に要望しました。

また、キャリア教育の取り組みや科学捜査の研究及び鑑定の最新動向等について、現地調査を行いました。

審査した請願

○義務教育費国庫負担制度の充実を求めることについて
ほか



キャリア教育に取り組む県立松島高等学校での調査(宮城県)

予算決算 常任委員会

予算・決算など県財政全般について、審査・調査しています。

「委員会開催回数18回」「各分科会開催回数51回」

本委員会は議長を除く議員全員が所属し、部局別に6つの分科会を設け、年間を通じて予算議案・決算議案などについて、詳細に審査・調査を行いました。

県財政の現状や前年度の県政運営の課題を踏まえ、めざすべき方向性について知事へ申し入れるとともに、新年度当初予算については、予算編成が始まる以前の段階から調査を行い、議会の意見が反映されるよう取り組みました。

また、令和2年度から導入される県民参加型予算については、都道府県で初めて導入した東京都を訪問し調査を行ったほか、明治大学公共政策大学院の兼村高文教授に参考人として出席を求め、「住民参加型予算の現状と課題について」の意見を聴き、審議の充実に努めました。

○平成30年度三重県一般会計歳入歳出決算 ほか



委員会での参考人招致の様子

外国人労働者支援調査 特別委員会

外国人労働者に係る支援について調査しています。

「委員会開催回数13回」

外国人労働者に係る支援について、「日本語教育」「企業等の関わり」「三重県多文化共生総合相談ワンストップセンターのあり方」の3点を重点調査項目として調査を行いました。

5月の委員会設置以降、県当局からの聴き取り調査に加え、関係機関や県内の支援団体等からの参考人招致や先進自治体等への県外調査を実施し、外国人労働者の現状や課題、支援の取り組み等について調査するとともに、委員間討議を重ねてきました。

これらの調査結果をふまえ、日本語教育の質と機会の確保、企業等への周知・啓発、みえ外国人相談サポートセンターの機能拡充や県庁内の支援体制の構築などについて委員長報告及び知事への提言を行うことを決定しました。



文化庁での調査の様子

選挙区及び定数に関する在り方調査会

人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割並びにそれらを踏まえた三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方について、調査しています。

「調査会の開催回数5回」

調査会は、大学教授など外部の有識者8人を委員として、これまで5回の会議を開催し、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」について、委員間で調査を重ねてきました。また、三重県内の現地調査を2回実施し、地域の課題等について意見聴取を行いました。

そうした中、調査会では、委員から様々な意見や考え方が提示されたことを踏まえて、今後議論を進めていくに当たっての論点を整理した中間報告を取りまとめることとしました。

今後、中間報告を踏まえて更に議論を深めていくとともに、8月を目途として、最終的な取りまとめを行う予定です。



会議の様子

三重県産材利用促進に関する条例検討会を設置

三重県産材の利用の促進に関し、条例の制定に向けた調査及び検討を行うため、本年1月に議員11人で構成する「三重県産材利用促進に関する条例検討会」を設置しました。

1月15日には、第1回検討会を開催し、今後の検討会の進め方等について協議を行い、条例案の9月提出を目途に検討を進め、調査を尽くすために必要があれば、11月提出とすることも検討することとなりました。

2月12日には、第2回検討会を開催し、三重県の森林・林業及び木材利用の現状等について、農林水産部から聴き取りを行いました。

今後、関係者からの意見聴取や現地調査を含め、条例案提出に向けて慎重・丁寧に議論を重ねていく予定です。



第1回検討会の様子

「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」最終案等知事への申し入れ

1月21日、正副議長、各行政部門別常任委員長及び予算決算常任委員長から、「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」最終案及び「第三次三重県行政改革取組」中間案に基づく今後の「県政運営」等について、知事に申し入れを行いました。

第三次行動計画については、地方創生の実現に向け、県のあらゆる施策を総動員して取り組むことや、Society 5.0及びSDGsの新たな視点を絶えず意識して県政運営にあたることなどを要望しました。

また、行財政改革取組については、市町と積極的に情報交換を行い、優れた取り組みを互いに取り入れるなど市町と連携し、効果的に取り組みを展開するよう要望しました。



申し入れの様子

文書による質問

三重県議会基本条例第14条の2の規定に基づき、次のとおり文書による質問が提出されました。

○稲森稔尚議員（草の根運動い）伊勢湾における日米合同訓練の実施について

※質問書と回答書は、三重県議会ホームページをご覧ください。

第2回「みえ現場de県議会」を開催

2月14日、令和元年度第2回「みえ現場de県議会」を、三重大学を会場に開催しました。

「みえ現場de県議会」は、県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映することを目的として、平成22年度から実施しています。

今回は、三重県議会として初めてテーマ等の募集を行い、決定した「若者の県内定着の促進」をテーマに、意見交換を行いました。

参加者からは、「学生が成功体験を得て、これを行いたいとなった時に、それが三重県でできるのであれば、定着につながっていくと思う」、「三重県生フアンタジスタクラブの活動を通して、三重県の魅力を学んだ。今度は自分が他の学生たちに伝えていきたい」など、さまざまな意見が出されました。



意見交換の様子

「みえ高校生県議会」の参加校を募集

開催日時 令和2年8月17日（月）
開催場所 三重県議会議事堂 議場
募集期間 令和2年3月4日（水）～5月8日（金）
内容 高校生が県政について質問し、県議会議員が答弁します。

募集対象及び学校数

県内の高等学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校に在学の生徒で、1校あたり3人程度。各学校1グループで合計16校まで。

※募集校数を超えて応募があった場合、抽選となります。

応募方法

学校単位でご応募ください。詳しくは、三重県議会ホームページをご覧ください。



前回の様子